

## 平成29年度資産運用状況について

林業退職金共済事業等勘定 給付経理

資産運用に当たっては、中小企業退職金共済法及び関係省令・告示並びに[運用の基本方針](#)に則り実施いたしました。林退共制度の安定的な運営及び健全性の向上に必要な運用収益を確保するため、合同して運用することができる資産配分で策定した[基本ポートフォリオ](#)により運用を実施いたしました。

平成29年度の資産運用は、自家運用では、金利が低迷を続け利回りが低下しました。委託運用では、先進国の緩やかな景気拡大等を背景に、国内外の株価が大きく上昇し収益を確保しました。

平成29年度末の運用資産残高は149億17百万円となり、当期の運用収益は2億96百万円（運用収入が2億96百万円、うち金銭信託評価益は2億43百万円）、決算運用利回りは2.04%となりました。

なお、当期総利益は2億04百万円、累積欠損金は5億72百万円を計上いたしました。

資産運用の内訳としては、[自家運用](#)は、期末運用資産残高94億96百万円、運用収益53百万円、決算運用利回りは0.57%となりました。

[委託運用](#)は、期末運用資産残高54億21百万円、運用収益2億43百万円（費用控除後）、決算運用利回りは4.69%となりました。

委託運用のうち金銭信託に係るパフォーマンスは、資産別では、国内債券・国内株式・外国株式は[ベンチマーク](#)を上回り、外国債券はベンチマークを下回りました。また、資産合計では、基本ポートフォリオに定める各資産の資産配分で加重した超過収益率の合計が0.39%となりました。

## 資 産 運 用 状 況

>平成29年度の資産運用状況は、下表のとおりです。

(単位：百万円)

運用の方法等			資産額	構成比	運用収入 ①	運用費用 ②	運用収益 ①－②	決算運用 利回り	
自 家 運 用	有 価 証 券	国 債	1,333	8.93%	8	-	8	0.59%	
		政 府 保 証 債	6,793	45.53%	44	-	44	0.69%	
		金 融 債	600	4.02%	2	-	2	0.28%	
		計	8,725	58.49%	53	-	53	0.64%	
	預 金	短 期 運 用	-	-	-	-	-	-	
		普 通 預 金	771	5.17%	-	-	-	-	
		計	771	5.17%	-	-	-	-	
	計		9,496 <9,308>	63.66%	53	-	53	0.57%	
	委 託 運 用	金 銭 信 託	指定・特定金銭信託	5,258	35.25%	241	-	241	4.81%
			新団体生存保険	163	1.09%	1	-	1	0.88%
計			5,421 <5,178>	36.34%	243	-	243	4.69%	
合 計		14,917 <14,487>	100.00%	296	-	296	2.04%		

- (注) 1. 資産額の<>内の金額は、平均残高である。  
 2. 決算運用利回りは、運用収益を平均残高で除した数値である。  
 3. 金銭信託の資産額及び運用収入は、合同運用の全体額を総口数で除して求めた額に林退共資産の保有口数を乗じて算出した額である。  
 4. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

## 運用収益及び決算運用利回りの推移

▶ 過去5年間の運用収益及び決算運用利回りの推移は下表のとおりです。

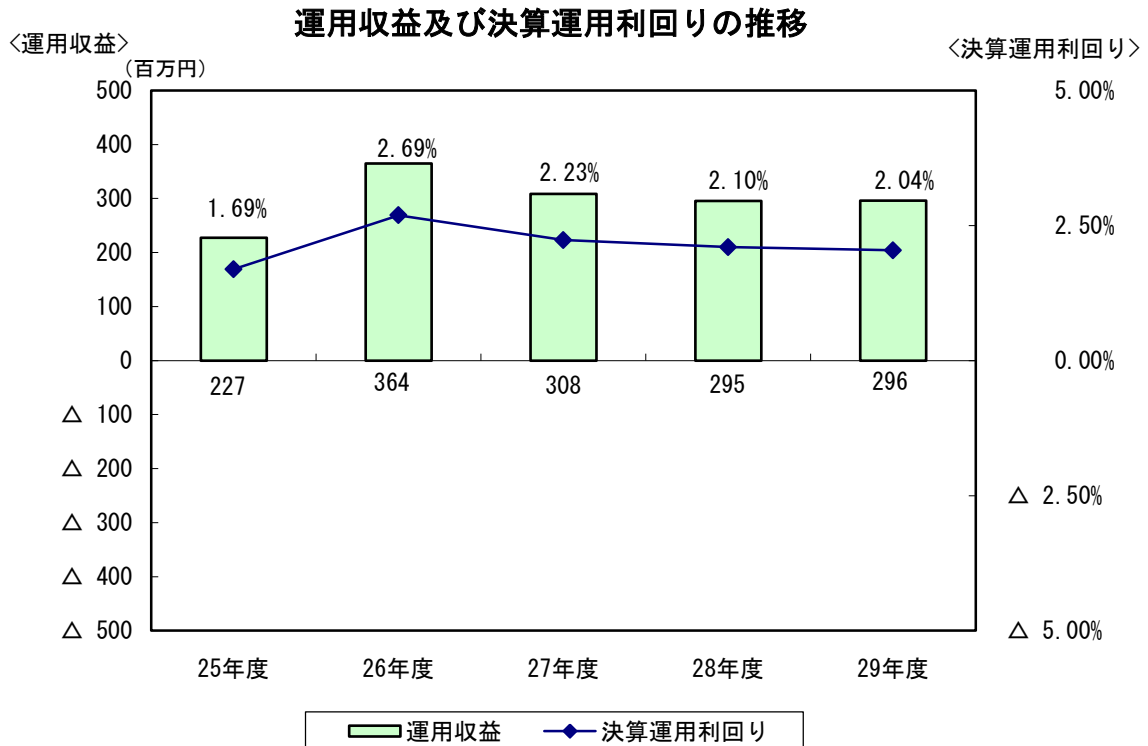
(単位：百万円)

運用の方法等		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
自家運用	有価証券	108	105	94	63	53
	預金	0	0	0	-	-
	計	108	105	94	63	53
委託運用	金銭信託	119	260	215	233	243
	生命保険資産	-	-	-	-	-
	有価証券信託	-	-	-	-	-
	計	119	260	215	233	243
運用収益の合計		227	364	308	295	296

決算運用利回り	1.69%	2.69%	2.23%	2.10%	2.04%
---------	-------	-------	-------	-------	-------

- (注) 1. 運用収益は費用控除後の額である。  
 2. 平成28年度以降の金銭信託の運用収益は、合同運用の全体額を総口数で除して求めた額に林退共資産の保有口数を乗じて算出した額である。  
 3. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。



## 自家運用資産の構成状況

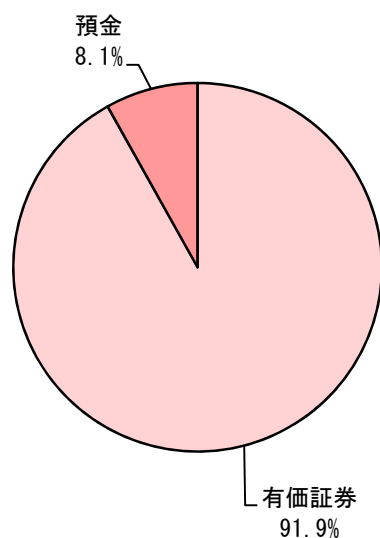
➤ **自家運用**は、元本の償還や利払いが確実な政府保証債を中心に運用し、平成29年度末の資産額は94億96百万円で、政府保証債の割合は71.5%となっています。

(単位：百万円)

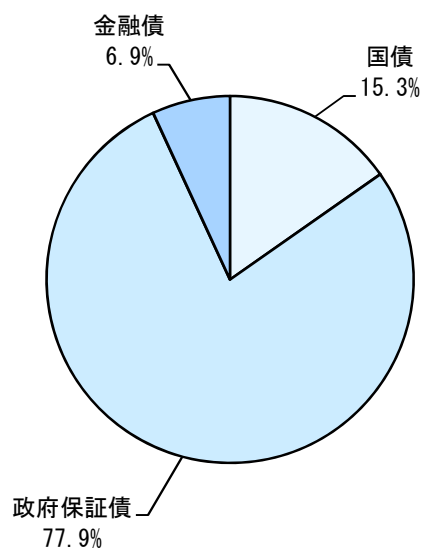
運用の方法等		資産額	構成比	
			有価証券構成比	
自家 証券	国債	1,333	14.0%	15.3%
	政府保証債	6,793	71.5%	77.9%
	金融債	600	6.3%	6.9%
	計	8,725	91.9%	100.0%
運用 預金	短期運用	-	-	
	普通預金	771	8.1%	
	計	771	8.1%	
合計		9,496	100.0%	

(注) 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

自家運用構成比



有価証券構成比



## 委託運用資産の構成状況

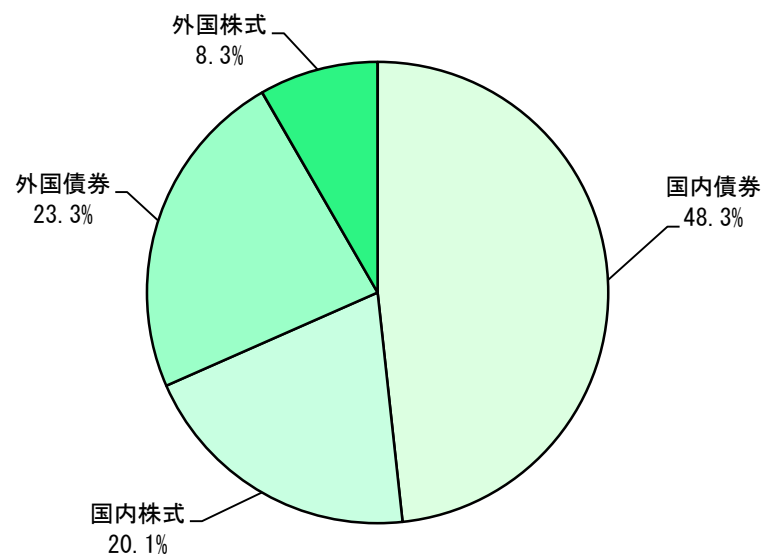
➤平成29年度末の委託運用のうち、金銭信託は、銀行(4社)、投資顧問会社(12社)及び生命保険会社(2社)に運用を委託し、資産額は54億21百万円となっています。

(単位：百万円)

運用の方法等			資産額	金銭信託 構成比
委 託 運 用	金 銭 信 託	国内債券	2,617	48.3%
		国内株式	1,090	20.1%
		外国債券	1,261	23.3%
		外国株式	452	8.3%
		合計	5,421	100.0%

- (注) 1. 金銭信託の資産額は、合同運用の全体額を総口数で除して求めた額に林退共資産の保有口数を乗じて算出した額である。  
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

### 金銭信託構成比



## 金 銭 信 託 の 収 益 率

▶平成29年度は、委託運用資産のうち金銭信託の収益率（時間加重収益率）は、資産別にみると国内債券・国内株式・外国株式会社はベンチマークを上回り、外国債券はベンチマークを下回りました。

また、時間加重収益率の資産合計は4.79%、基本ポートフォリオに定める各資産の資産配分で加重した超過収益率の合計は0.39%となりました。

資産区分		時間加重収益率	ベンチマーク騰落率	超過収益率
金 銭 信 託	国 内 債 券	1.05%	0.90%	0.15%
	国 内 株 式	16.38%	15.87%	0.51%
	外 国 債 券	0.78%	0.93%	△0.15%
	外 国 株 式	11.91%	8.47%	3.45%
	合 計	4.79%	-	0.39%

- (注) 1. 超過収益率の合計は、基本ポートフォリオに定める各資産の資産配分で加重した合計値である。  
2. 林退共資産における各資産のベンチマークは以下の通りである。

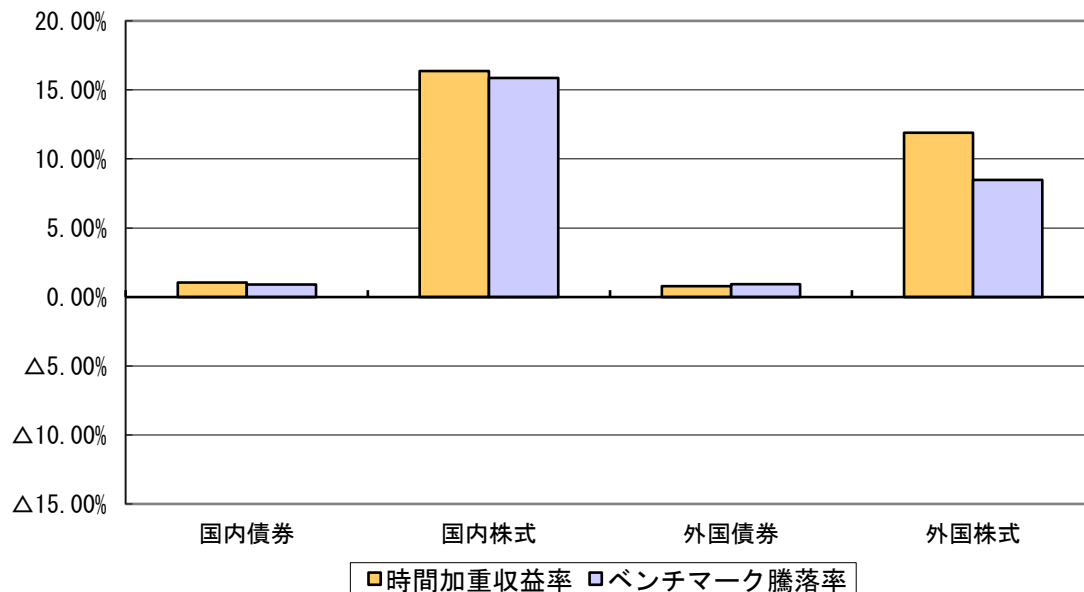
国内債券：[NOMURA-BPI \(総合\)](#)

国内株式：[TOPIX \(配当込み\)](#)

外国債券：[FTSE世界国債インデックス \(日本を除く、円ヘッジ・円ベース\)](#)

外国株式：[MSCI KOKUSAI \(円ベース、配当込み、GROSS\)](#)

### 金 銭 信 託 の 収 益 率



## 運用資産の構成状況

➤平成29年度末の資産構成状況は、[基本ポートフォリオ](#)に定める合同して運用した資産配分である。

(単位：百万円)

資産区分	基本ポートフォリオ	乖離許容幅	資産額	資産構成比	乖離状況
国内債券	82.3%	-	12,113	81.2%	-
国内株式	6.2%	-	1,090	7.3%	-
外国債券	8.6%	-	1,261	8.5%	-
外国株式	2.9%	-	452	3.0%	-
合計	100.0%	-	14,917	100.0%	-

- (注)
- 国内債券には、預金が含まれている。
  - この基本ポートフォリオは合同して運用することができることを前提とするため、乖離許容幅を定めていない。
  - 金銭信託の資産額は、合同運用の全体額を総口数で除して求めた額に林退共資産の保有口数を乗じて算出した額である。
  - 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

### 資産構成比

